科目名	治療総論Ⅱ－手術療法と麻酔・救急医療	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間	30(内20)

＜科目設定理由＞

『治療総論Ⅱ』は、「手術療法と麻酔・救急医療」・「ME機器の基礎」で構成される。

医学の父と呼ばれるヒポクラテスは「病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり、医者はこれを手助けするものである」と語っており、治療や医療行為は人間の身体にもともと備わっている治癒力を助けるものでなくてはならない。すなわち、患者の病態を改善し健康を回復するための医師による行為が治療である。

医学は病気を診断し治療を行うことで、病気を治癒させたり、現在生じている症状を緩和・消失させ今後おこりうるであろう健康問題を低減させる。看護者が対象の自然治癒力を引き出し、回復過程を支援するためには、医師の行う診断・治療についての理解が不可欠といえる。

手術（外科的療法）は、生体への侵襲を伴う治療法である。看護師は周手術期において対象の意思の尊重と手術の安全な進行および術後の順調な回復を促進する役割がある。

ここでは、手術（外科的療法）の特徴と侵襲による生体反応、手術と密接に関連する麻酔についての基礎的知識を得ること、および救急医療の特徴を知ることをねらいとして科目を設定する。

学習目標	手術療法の目的および手術侵襲に対する生体反応・機序が分かる。 侵襲からの回復過程における炎症反応および創の治癒過程が分かる。
学習内容	1．手術侵襲と生体反応・機序　…ムーアの分類およびサイトカインによる調節機能 2．手術療法と炎症・感染症および創の治癒過程 3．麻酔の目的と適用 4．麻酔の種類と管理 5．外科的治療を支える分野 ・呼吸管理 ・体液管理 ・栄養管理 ・輸血管理 6．救急医療の特徴と対象 終講試験
授業形態	講義・グループワーク・演習
評価方法および評価の観点	筆記試験の他、出席状況も勘案のうえ評価する
テキスト	系統看護学講座　別冊「臨床外科看護総論」 医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示の予定
履修上の留意事項・受講条件	予習・復習をして受講のこと